

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和3年2月12日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○	法令で定められた基準値以上の広さもあり、療育と余暇の部屋を分けています。	今後も利用定員とスペースの関係が適切になるように努めて参ります。
	2	職員の配置数は適切である	○	基準を上回る人数の配置で対応しており、職員全員が有資格者となっています。	今後も継続して適切な配置に努めて参ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○	バリアフリーは今後の検討課題ですが、学習と活動の部屋を分けることで過ごしやすい環境設定ができています。	今後も必要に応じてバリアフリー化の検討行って参ります。
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○	定期的にミーティングやリフレクション会議などを行い、情報交換・共有・振り返りを行い、業務改善を進めています。	今後も職員間の情報交換・共有・振り返りを徹底し、より良いサービス、より良い支援、業務の改善に努めて参ります。
業務改善	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○	年に一回アンケートを配布し、全職員で共有してご意見への検討を行い業務改善に努めています。	今回頂いたアンケート結果を踏まえ、職員間で話し合い、できることから業務改善を行って参ります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	自己評価の結果は公式 Web サイトで公開しています。	今後も毎年公式 Web サイトにて自己評価の公開を行って参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	現時点では第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については、今後の検討課題と致します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	年間計画を年度初めに計画し、毎月研修を行い、職員の質の向上、意識の向上に努めています。	今後も継続して研修を行い、職員の資質の向上を図って参ります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○	定期的にあセスメントを適切に実施し、児童の状態や保護者様のご意向を踏まえ、計画を作成しています。	今後も保護者様のご意向を踏まえた支援計画を作成し、日々児童や保護者様との関わりの中でニーズや課題を検討して参ります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	統一化されたアセスメントシートを使用し、適応行動の状況を把握し、活用しています。	今後も継続して使用し適切にアセスメントを行い、保護者様のご意向を確認して参ります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	全職員で情報を共有し児童の状態に合わせたプログラムをチームで立案しています。	今後も活動プログラムは随時チームで立案、計画していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	職員全員で意見を出し合いながら、プログラムが固定化しないよう工夫をしています。	今後も全職員で話し合いを継続し、児童が意欲的に活動できる内容になるよう努めて参ります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○	平日は個々にあった学習内容を工夫しています。土曜日・長期休暇は、活動的なイベントや課外活動を取り入れています。	今後も継続して、平日、土曜・長期休暇に応じて、きめ細やかな課題を設定し、児童が楽しく活動に参加できるように工夫して参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○	児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせ支援計画を作成しています。	今後も適切に、個別活動と集団活動を組み合わせ支援計画を立案して参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	ミーティングで前日の様子や当日の支援内容を職員間で話し合い、情報交換を行っています。	今後も当日の流れ、支援内容や役割分担について情報共有の上、支援に取り組んで参ります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	支援終了後は送迎もあり、全職員が集まるのが難しく当日の支援の振り返りについて、翌日のミーティングで全職員で共有しています。	今後も共通認識に努め、報告・連絡・相談を徹底して参ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	毎日記録に残し、すぐに検証と改善ができるように心がけています。	今後も継続して記録の記載を徹底し、より良い支援に繋げて参ります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	半年以内に必ずモニタリングを行い、保護者様のニーズと児童の現状を把握し、計画の見直しをしています。	今後も必要に応じて、期間を問わずモニタリングを行い、計画の見直しを行って参ります。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○	ガイドラインの総則の基本活動を、児童の特性や年齢、季節感も考慮に入れながら、組み合わせ支援を行っています。	今後も基本活動を複数組み合わせ、より良い支援を目指して参ります。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。	今後も児発管が参加し、支援に活かして参ります。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○	必要な情報を共有できる連携体制を整え、児童の変化や学校の下校時間の予定、送迎時間の変更等を共有・確認をしています。	今後も継続して連携し、認識が統一された支援が行えるよう、共通理解のもと相互で関わり、役立てられるよう努めて参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索して参ります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	関係機関とは担当者会議等を通して情報提供や共有を行い、支援の方針が統一されるよう努めています。	今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図って参ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	現在までに該当する児童がいない為、情報提供には至ってありません。	該当児童があった場合、関係機関等へ支援内容や活動状況の情報を提供し、連携に努めて参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	情報交換を行い、助言を受けており、児童が併用している他の事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	今後も積極的に連携を図り、研修や助言を受け、併用利用の事業所とも繋がりを絶やさず努めて参ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	今年度はコロナ禍のため、事業所主催の交流の機会は、企画できていません。	現在はコロナ禍のため交流に関しては慎重に検討して参ります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○	今年度はコロナ禍の影響で会議等への参加はできていません。	コロナ収束後積極的に協議会へ参加し、連携の強化に努めて参ります。
	28	日頃から子どもの発達を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○	日頃より、送迎時や家庭連携等で、児童の様子や状況を保護者様に伝え、発達課題について共通理解を持つようにしています。	今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り共通理解に努めて参ります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	保護者様のお悩みやご相談と一緒に考え、助言し支援を行っています。	今後も継続して、保護者様のお悩みに寄り添う支援を行って参ります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時は、保護者様が分かりやすいように配慮しながら説明を行っています。説明時には、質問や不明点がないか確認しながら進めています。	今後も引き続き、分かりやすく丁寧な説明を心掛けて参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	家庭連携や日々の送迎時等でご相談を受けた際は、保護者様のお気持ちに寄り添いながら助言を行い支援に繋がっています。	今後も家庭連携や送迎時のみならず、いつでも子育てのお悩みについての助言を続け、声をかけやすい環境を心掛け、保護者様に寄り添えるように努めて参ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	今年度は、コロナ禍のため父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。	コロナ収束後、ご意見を伺いながら、保護者様参加型の行事等の機会を検討して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情があった場合はすぐに職員間で話し合い、迅速に対応しています。また、苦情窓口と責任者を配置し、ご意見箱の設置も行っています。	今後もご意見にはできるだけ迅速な対応を行い、必要に応じて家庭訪問等で早期解決に努めて参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	公式 Web サイトのブログでは、月に1回事業所の様子をお伝えしており、公式 LINE アカウントでブログの更新は告知し、また年4回季刊誌を発行しています。	今後も継続して情報の発信を行い、保護者様にその都度ご案内し、より多くの方に活動内容を知って頂けるように努めて参ります。
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報記載された書類の破棄は、シュレッダーを利用し個人ファイルについては、鍵付きの書庫にて保管・管理しています。	個人情報は今後も細心の注意を払い、取り扱いや保管を行って参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	児童や保護者様の状況に合わせて、十分に配慮した情報伝達手段で意思疎通を行っています。	今後も児童や保護者様の状況を考えながら、情報伝達や意思疎通に配慮して参ります。
非常時の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	今年度は、行事に地域住民をご招待する企画を行うに至りませんでした。	現時点では、コロナ禍であるため、慎重に検討を行い、今後事態が収束した際には、地域イベントに児童と参加したり、近隣の方々との交流の機会を検討して参ります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	事業所内にマニュアルや対策を掲示し、保護者様にもお伝えしています。また、年間計画を立て訓練を行っています。	掲示場所を再度ご案内し、訓練実施の際には、連絡帳等で保護者様への事前連絡を行って参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年度初めに年間計画を立て定期的に様々な災害を想定した訓練を行っています。	今後も定期的に訓練を行い、訓練後には改善点を話し合い、次回の訓練に繋げて参ります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待防止研修を年間計画に盛り込み、研修資料を元に、虐待防止に関する勉強会を行っています。	今後も継続して虐待防止についての研修を行い職員の意識向上に努めて参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	利用契約書には、身体拘束の禁止が記載されています。現実では該当はいたしません。生命又は身体を保護する為にはやむを得ず身体拘束を行う場合は、書面にして保護者様の同意を得ることとしております。	今後も原則として身体拘束を行わず、い基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束を行うときは、あらかじめ書面により保護者様から同意を頂いた上で個別支援計画に記載して参ります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アレルギーについては契約時に保護者様から聞き取りを行い、全職員で情報共有を徹底しています。	今後も職員の周知を徹底し、食物の提供を行う場合は細心の注意を行って参ります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	都度ヒヤリハット報告書を作成し、職員全体で情報共有して再発防止に努めています。	今後も継続してヒヤリハット事例を記録し、職員間での情報共有と認識一致に努め、再発防止に繋げて参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。